

27 地域ぐるみの鳥獣害対策を支援

■ 管内全域 ■

(西讃農業改良普及センター 白井英治)

●対象の概要

管内(観音寺市、三豊市)では、中山間地域を中心にイノシシやニホンザル(以下、サルという)、カラス等野生鳥獣による農作物被害が発生しており、また、ハクビシン、外来生物のアライグマ等の中型動物もブドウやイチゴの果実等の被害がある。

被害は、野生鳥獣の種類により異なるが、その主なものはイノシシ、サル、カラスによるものである。イノシシは管内全域に水稻被害が発生しており、サルによる被害は三豊市の内陸側の果樹栽培が盛んな地域、カラスは、ミカンやナシなど果樹栽培地域で被害が発生している。



イノシシによる水稻の踏倒し被害

●課題を取り上げた理由

管内の野生鳥獣被害は、平成22年度に急激に増加した。この年は全国的な干ばつであり、野生鳥獣の活動域が山から里へ拡大し、農作物被害の増加につながったものと思われる。それまでの対策は農家個々の対策が主であり、環境整備や柵の設置等には多くの労力と経済的負担が伴い、広範囲に生息して出没する野生鳥獣に対しては、地域や集団での面的対策が必要であった。

●普及活動の経過

1 協議会等への支援

観音寺市・三豊市の鳥獣害防止対策協議会

の運営を支援した。担当者などによる情報交換を適時行うとともに、協議会の取り組む国や県の補助事業等を支援・指導した。

2 被害状況や野生動物生息調査等の実施

農作物の被害状況調査を実施し、関係団体等に情報を提供した。本年度は、関係市、地元農家5名を中心に、目撃情報などの聞き取り調査に加えてセンサーカメラを活用し、害獣の生態や被害情報を収集した。調査時等に収集したサルの行動等の情報は、随時地域の捕獲者に伝え、捕獲技術の検討などを行った。結果、サルの捕獲は4月から2月の11か月で95頭の実態となった。

3 講習会・実証展示の設置

市が開催するアライグマ防除従事者講習会や地域ぐるみで取り組むための鳥獣対策講習会、小学校の生徒と教職員を対象にした野生鳥獣対策の安全講習等において、対策技術を説明するなどして支援した。また、「普及センターだより」等、印刷物の配布により広く啓発を行った。



電気柵講習を兼ねた複合柵実証

集落のサル被害対策のため、山本町でワイヤーメッシュ・電気複合柵をカラス対策として果樹担当と協力し、豊浜町のナシ及び仁尾町のカンキツ類で弾性ポールにテグス展張+防鳥網「くぐれんテグス君」による実証展示を行い、有効な技術を地域リーダー等に伝えるなど技術の普及を図った。



ナシ園でのカラス侵入防止実証展示

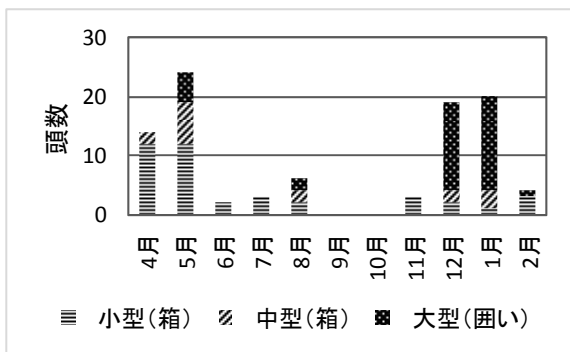
財田町野田原地区で、地元捕獲者や農家とともにイノシシ大量捕獲のための囲いわな設置や ICT 利用の箱わなでの捕獲展示のための餌付けを行い、大量捕獲実証を進めた。



両市協議会との現地視察



センサーカメラ (ICT) 調査による捕獲技術支援



図一 平成 27 年度三豊市内のサル捕獲頭数 (三豊市調べより作図)

●普及活動の成果

1 鳥獣被害対策協議会等への支援

協議会運営への支援により対策の知識・情報が共有化され、協議会対策推進の母体となって集落での取組みに発展したモデル地区が

5年間で24か所となった。現在、観音寺市栗井町奥谷地区では28年度の国補事業の活用が決まり、集落ぐるみの被害対策が期待される。

2 捕獲による被害軽減

野生鳥獣の生態情報等を地元捕獲者や市と情報共有することで捕獲が効率的に進み、農家への聞き取りでは収穫皆無状態から収穫、出荷ができる状態へと果樹被害が軽減できた。

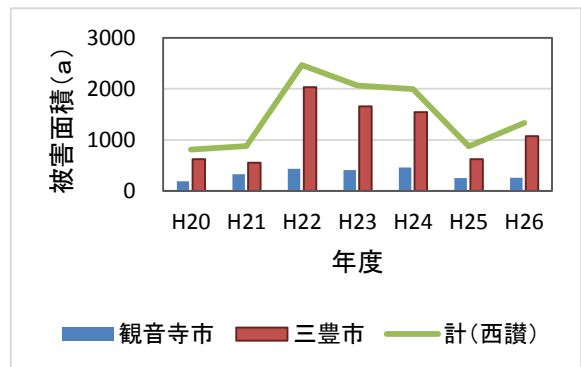
3 講習会・実証展示等による対策技術の普及

カラス対策展示ではJA単独助成事業化、サル対策複合柵展示ではミカン生産継続への意欲向上につながり、対策技術の普及が図られた。

各種講習会等で地域ぐるみで取り組む意識が向上した。このことは、地域ぐるみでの国補事業等利用による柵の設置等につながった。

小学校への講習では農家以外の方にも野生鳥獣による農業被害の現状の理解が深まり、地域自ら対策に取り組む素地形成が進んだ。

これら対策の総合的な結果として、被害が多くなった平成22年と比較すると、年変動があるものの平成26年には被害が半減し減少傾向となっている。



図一 2 水稻の獣被害面積の推移 (農業共済データより作図)

●今後の普及活動の課題

被害対策が進んでいない集落での取組みが必要である。対策が進んだ地域ではリーダーの存在があり、座談会や研修等で集落内での問題意識の共有化を図りつつ、リーダー選出・育成を中心に地域ぐるみで取り組めるよう支援していくことが重要である。また、同時に被害防止には有害鳥獣捕獲も重要であるため、捕獲技術向上への支援も行っていく。